

様式第 20 の 2 (第 48 条の 3 関係)

実 務 経 験 証 明 書

記入例

①	氏 名	上 越 太 郎		
		(〇〇年 〇〇月 〇〇日生)		
②	取り扱った危険物	類 別	第 4 類	品 名
		第 1 石油類 (ガソリン)		
③	取り扱った期間	〇〇年〇〇月〇〇日 から 〇〇年〇〇月〇〇日まで		
		(〇年 〇か月)		
④	製造所等の別 (該当するものを ○で囲むこと)	製造所 ・ 貯蔵所 ・ 取扱所		
上記のとおり相違ないことを証明します。				
⑤	証明年月日	〇〇年 〇〇月 〇〇日		
⑥	事業所名	〇〇株式会社		
⑦	所在地	〇〇県〇〇市〇〇町〇〇番地		
⑧	証 明 者	職 名	〇〇株式会社 〇〇工場 工場長	
		氏 名	〇 〇 〇 〇	
		電話番号	〇〇〇 (〇〇〇) 〇〇〇〇	

備考 この用紙の大きさは、日本産業規格 A 4 とすること。

[実務経験証明書（例）記入要領]

- ① 「氏名」欄は、証明を受ける者の氏名と生年月日を記入する。
- ② 「取り扱った危険物」欄は、実務経験で取り扱った危険物の類及び品名とする。危険物の類が複数ある場合は、主として取り扱った危険物の類を記入し、危険物の品名についても同様に扱うこととする。
- ③ 「取り扱った期間」欄は、実務経験の期間を記入する。括弧内には、合計の年月を記入する。なお、6ヶ月以上の取り扱った期間（取扱いの立会い期間も含む。）とする。
- ④ 「製造所等の別」欄は、実務を行った危険物施設の区分を○で囲む。複数の製造所等にまたがる場合は、主として実務した危険物施設の区分を○で囲む。
- ⑤ 証明年月日は、記載内容を証明する年月日を記入する。
- ⑥ 事業所名は、証明した事業所名を記入する。
- ⑦ 所在地は、証明した事業所の所在地を記入すること。
- ⑧ 証明者は、証明者職氏名、事業主又は事業所の管理者名を記入する。